

平成19年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[環境工学]

- 1 . 土壌に負荷された物質が分解されずに土壌中に残留し、または地下環境に浸透して、土壌汚染として問題となることがある。

【 3 0 点 】

- (1) 下記の土壌汚染物質の分類に含まれる具体的な物質名をそれぞれ2つずつ答えよ。
揮発性有機化合物 重金属等
- (2) 土壌汚染はどのように発生し、それによってどのような被害を生じさせるか述べよ。
- (3) 汚染された土壌や地下環境を修復する方法を3つ挙げ、それぞれ簡潔に説明せよ。

- 2 . 20 Hz 以下の周波数をもつ低周波空気振動や、100 Hz 程度以下の低い周波数をもつ低周波音が騒音・振動問題になることがある。

【 2 0 点 】

- (1) このような騒音・振動問題の発生要因を3つ挙げよ。
- (2) このような騒音・振動問題がわれわれの生活に及ぼす影響を2つ挙げ、それぞれ簡潔に説明せよ。